

共生

奈良県生協連

2000年1月

NO.35

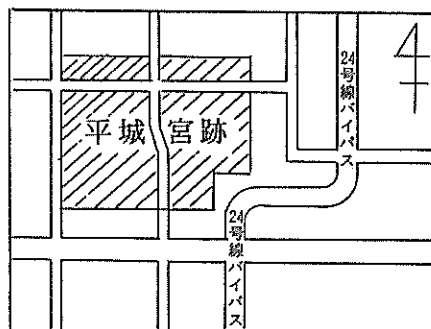
世界遺産登録の奈良をたずねて PART-7



<平城宮跡>

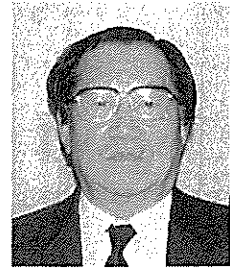
平城京は今から約1300年前710年に都が藤原京から奈良に移され、784年に長岡京に遷都するまでの74年間律令体制の中心の都であった。平城京の中心平城宮跡は近鉄奈良線の西大寺～新大宮の間に見える1200畝の広大な地に、国家的儀式を行う大極殿や朝堂院、天皇の住む内裏、官庁街などが整然と立ち並んでいた。

この広大な平城宮跡が今日まで保存継承されて来たのは多くの先駆者たちの努力と市民の保存運動があったからである。図に示すように24号線バイパスが平城宮跡に直面するところから東に大きくそれて北上しているが、これはこのバイパスが平城宮跡を貫いて北上する計画を多くの市民の遺跡を守れという運動によって迂回させ平城宮跡を守りぬいたのである。今後もこれらの世界遺産を守るうえで市民運動の果たす役割は大きい。





“2000年問題”と“もう一品運動”



奈良県生活協同組合連合会
会 長 繁田 實造

あけましておめでとうございます。

この「共生1月号」がみなさんのお手元に届く頃には、いわゆる2000年問題も、何らかの結着がついていることと思います。

この問題はコンピューターの開発段階で、その容量との関係から西暦19××を××年と略しうることから××年としたために、1900年代の××年と2000年代の××年とが混同するという問題であります。このことはいいかえますと、1900年代のコンピューターにおける蓄積が正しくコンピューターに反映されないということでもあります。

現在とは過去からの連続であり、未来へと発展していくものなのですが、過去からの連続を断ち切られては、現在を論ずることができないばかりではなく、未来をも論ずることが勿論できなくなるといわざるをえなくなります。たとえ、みずからはこの問題を解決したとしても、インターネットということでは未解決の他のコンピューターと繋がっていれば、その影響を蒙るということになります。1900年代の膨大なデータを2000年代にどう活用できるかというのがこの2000年問題であると聴いております。

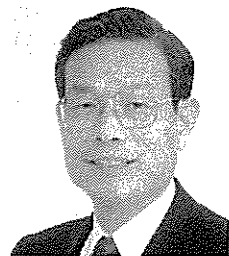
ところで、生協運動にはコンピューターの2000年問題の他にもう一つ別の意味での2000年問題があります。それは、いわゆるバブル崩壊による不況のためというか、21世紀を迎えるにあたり、生協にも大きな変化が生じてきております。生協は食の安心・安全を梃子として、日本の生活文化の向上・発展のために

いろいろな働きをしてきました。たとえば、今日では当たり前になっている有害食品添加物の問題にしましても、生協が声を挙げることによっではじめて世間でも注目されるようになり、有害食品添加物除去の運動に大きく貢献してきたといえます。現在では、生協は人びとの共生・共栄をめざして福祉問題にも積極的に取り組んでおりますが、われわれは20世紀において生協が果たした成果の上に立って、21世紀における生協のさらなる発展をめざさなければなりません。

先にも触れましたように、コンピューターの2000年問題の他に、生協にまで波及している不況問題があります。生協が過去の輝かしい成果を踏まえ、21世紀においてもその未来の運動を発展させるためには、この不況を克服して、21世紀との経済的接点を強固なものにしなければなりません。そのためには、まず、誰でもができる生協の利用活動を通して、その運動のための財政的な基盤をより一層確立する必要があります。「塵も積もれば山となる」といわれています。たとえこれしきと思うような些細なものであっても、生協の輝かしい運動の歴史を維持・発展させるために、すべての組合員の皆さんがもう一品ということでは生協を利用してくださることを、年頭にあたり心からお願いいたします。

平成12年

新年のごあいさつ



奈良県知事
柿本 善也

奈良県の生協組合員の皆様、明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、まず、私たち奈良県の繁栄と県民の皆様のご多幸を、心からお祈り申し上げます。

私は、昨年11月の知事選挙で、県民多数の皆様のご支持をいただいて三選され、21世紀への橋を渡る時期に、引き続き県政に携わることになりましたが、初心に戻り引き締まった気持ちで取り組んでまいります。

地方分権の時代にふさわしく、新総合計画の積極的な展開を図りながら、魅力と底力を活かして、新しい世紀が「世界に光る奈良県」の時代になっていくよう努めてまいりたいと存じます。

奈良県の魅力を世界に発信する一つとして、「平城遷都1300年」にあたる2010年を目標とする記念事業を推進し、平城京の区域を中心に「日本の文化を代表する顔」となる新しい歴史文化ゾーンの形成を目指します。これらの事業の全国的な推進組織「平城遷都1300年記念2010年委員会」を設立しました。

また、県内各地の歴史的な文化資源を活かした「関西の憩いのオアシスづくり」を進めるため、2010年までの10年を「日本のこころのふるさと発信・交流の10年」と位置づけ、各種の事業を展開してまいります。

万葉ミュージアムについては、万葉集をテーマにした創作日本画、古代の生活文化や発掘文化財に親しみ、飛鳥時代を幅広く研究する学術

文化拠点として整備を進めます。

次に、便利で底力のある「快適の奈良県」を伸ばすため、各種の基盤整備を進めており、「なら・半日交通圏道路網構想」の実現に努め、今年も国道309号戸毛バイパスが全線完成するなど、いくつかの路線で完成をみるものがあります。JR奈良駅付近連続立体交差化、大滝ダム早期完成なども、引き続き推進いたします。

安心とやすらぎのある「福祉の奈良県」づくりとしては、4月から実施される介護保険制度の定着を円滑に進めるとともに、特別養護老人ホーム、ケアハウス、デイサービスセンター等の施設基盤をさらに充実させ、また、県立医大附属病院第2本館の整備に併せ、高度救命救急機能、小児医療機能などの強化を図ります。

さらに、経済・雇用対策など当面の緊急課題に精力的に取り組みます。

私は、知事就任以来、「県民の信頼とふれあい」を基本姿勢の中心に据えてまいりましたが、これからも、「県民参加型」の県政運営をさらに進展させます。家庭に温かさと潤いが感じられ、そして内外に誇れる郷土を築くため、決意を新たに、全身全霊を傾けたいと存じますので、さらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、奈良県生活協同組合連合会及び各組合の今後ますますのご発展並びに皆様方のご健勝・ご多幸を祈念して、新年のごあいさつといたします。

もくじ

新年のあいさつ	…… 2	福祉	…… 7	広がる協同・くらしの輪	…… 10
第10回生協大会	…… 4	環境	…… 8	つながる連帯・友好の輪	…… 12
		平和	…… 9	2000年トーク	…… 14

第10回奈良県生協大会

世代間の共生をめざして

1999年10月30日、特別養護老人ホーム「あすなら苑」において「世代間の共生をめざして」をテーマに第10回奈良県生協大会を開催しました。県ならびに各友好団体よりのご来賓、会員生協理事長、役職員や学生組合員、そして高齢者の参加も多く、高専生まで世代を超えて130名の参加があり交流を深めました。また、消費生活協同組合の発展に功績のあった生協役職員に対して、知事表彰も行われました。



繁田会長の挨拶では、1999年国際高齢者年の年に開催された記念すべき生協大会であること、奈良県下の生協組合員の力によって創られた施設「あすなら苑」において開催できたことへのお祝い、県下の生協運動に活躍した人が表彰される知事表彰が行われる大会となったこと。また、21世紀を迎えて生協運動はしんどい時期となるけれど、~~災~~災い転じて福となす・災いをチャンスに！“すべての世代のための社会をめざしてみんなで力を合わせて”と、2000年への導きを述べられました。

禍

そしてI部で知事表彰式、「こんべいとう」による共生コンサート、II部で奈良県生協連会長賞表彰式、共生パフォーマンス大会が行われました。



こんべいとうの伴奏で歌うあすなら苑の職員

◇ご出席頂いたご来賓のみなさん

(順不同)

奈良県副知事 岩本正雄様
奈良県農業協同組合中央会総括部部长 中村正之様
同管理部管理課課長 吉村政裕様
県生活環境部県民生活課課長 中辻 全様
同係長 川内輝明様 同主査 山口政胤様
奈良県原爆被害者の会（わかくさの会）
会長 市原大資様
県第二生活科学センター消費生活教室
OB会会長 東 園子様
奈良YMCA 所長 藤井辰男様
日本生活協同組合連合会関西地連
八巻 平様

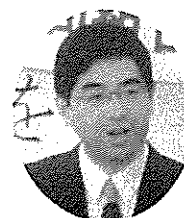
◇ごあいさつ頂いたみなさん



岩本副知事



JA中村部長



八巻地連事務局員

知事表彰

—1998年に奈良県消費生活協同組合役職員表彰式要項ができました—

奈良県労働者共済生活協同組合常任顧問

中南 又彦氏

奈良県労働者共済生活協同組合において、理事および理事長として、共済制度の拡充と働く者のいのちと暮らしを守る運動に長年に渡り従事し、とりわけ、阪神淡路大震災時、また、昨年度の台風7.8.10号時には、被災者の一助となる活動を行ないました。



市民生活協同組合ならコープ特別顧問

伊藤 次栄氏

専務理事及び副理事長として、ならコープの発展に大きく寄与しました。また環境活動（環境基本政策の策定、牛乳パック回収運動の提起、事業者責任の明示等）その他、多方面にわたり生協運動を広め、生活協同組合の認識を浸透させました。



会長賞

—会員生協の2つの団体が選ばれました—

◆ 環境・リサイクル推進賞…奈良高専生協



◆ 福祉・文化推進賞 …悠遊クラブ



パフォーマンス大賞

—Ⅱ部の参加者達による熱演の中から、ならコープ理事による寸劇「バランスよく食べましょう」が選ばれました—



□全国から祝電・メッセージをいただきました（順不同・団体名×敬称略）

祝電 農林水産省 近畿農政局・大阪府生活協同組合連合会・岡山県生活協同組合連合会
メッセージ

愛媛県生活協同組合連合会・京都府生活協同組合連合会・島根県生活協同組合連合会
新潟県生活協同組合連合会・兵庫県生活協同組合連合会・静岡県生活協同組合連合会
広島県生活協同組合連合会・香川県生活協同組合連合会・滋賀県生活協同組合連合会
三重県生活協同組合連合会・和歌山県生活協同組合連合会・日本生活協同組合連合会関西地連

<環境・リサイクル推進賞>

奈良工業高等専門学校生活協同組合

…… ペットボトルの回収率アップに向けてアイデアで勝負！……

今年4月より、文部省の指導により本校の焼却炉の使用停止が決定したことに関連して、本校ではごみの分別回収の指導が行われ、ペットボトルの回収のステーションとして奈良高専生協が選ばれました。これまでのペットボトルの回収に関して調査を行った結果、毎月のペットボトルの供給量に対しての回収率を調査しました。その結果、コンスタントに110%台の回収率をマークしていました。この結果は、学生の分別回収への意識の芽生えを感じさせるものとなりました。そこで、よりその意識を高めるために、学生委員会の方でペットボトル回収にかかる手間を省くために、ペットボトル回

収ボックスなるものを企画しました。ペットボトルを洗浄しラベルをはがすという機能を備え付け、ペットボトル回収率の向上を図ろうと思ったのですが、地方自治体のペットボトルの処理と合わず、現在計画がストップしています。また、スタンプカードを発行し、回収したボトルの数に応じてスタンプを押し、そのスタンプに応じて景品と交換するという企画もあがっています。

これからも検討を重ね、より多くの学生のリサイクル意識が高められるような企画を考えていきたいと思っています。

<福祉・文化推進賞>

ならコープ福祉サークル 悠遊クラブ

…… 地域に根ざした福祉を皆で考えたい ……

「こんにちは、いらっしゃい、お元気そうで」「お世話になります。今月も来れましたよ」

1時近くになると三々五々補助車を押ししたり杖をついたり、お友達と誘いあわせたり、笑顔のお年寄りが集まってきます。お迎えに出る私達もまた自然と顔がほころびます。奈良県橿原市耳成山の北東に広がる山之坊・石原田・常盤町、三町の住民が出資して建設した三和自治会館が、茶話会の会場です。平成9年4月に始めた時は、高齢者の方6名ボランティア10名で、順調に会を続けられるか不安をいだきながら始めた会でした。現在高齢者20名程、ボランティア約15名が月1回第1木曜日1時～3時に、なごやかなひとときを過ごしています。高齢者の方があまり感じる事のない四季の移ろいを、少しでも感じてもらえるよう、豆まき・節句・クリスマス会等を行ったり、介護講習会の開催・カラオケ大会等、マンネリ化しないよう考えながら、楽しみながら茶話会を開催しています。200円の会費は手作りおやつ、材料費、会館の使用料で消えますが、不足分は年1回行うバザーで地元住民の多くの方の協力を得、その収益で補います。各自治会役員の皆

さんの協力で、毎月の茶話会日程のお知らせ、健康福祉の情報等を地域住民全体に回覧させていただき、陰ながらささえて下さる多くの方の協力を得て3年目を迎えています。我が町も高齢化の波が押し寄せ、老人会の人数は増加していますが、各自治会の行事や老人会、子供会の取組も貧弱になり、地域住民のつながりは希薄なものになっています。一人暮らしの方、老人家庭、寝たきりの方を家族だけで崩壊寸前になりながら介護されている方等、様々な不安が渦巻く現状です。いつまでも若々しく、明るく、長らく暮らしてきた愛着のある地で生活ができる。これは高齢者のみならず、多くの方が望むことでしょう。つい最近までみられたとなり近所が助け合い、いたわりあった良き時代を再びとりもどせるよう、地域住民による地域住民のための福祉を、皆で考えて行きたいものです。

高齢者への参加を呼びかけるとともに、若い方にボランティアとして参加していただくよう呼びかけ、地域福祉の理解のきっかけをつかんでいただけたらと思っています。

第11回目のひまわり号はバスで信楽へ

11月3日、紅葉真っ盛りの信楽へ障害者の夢をのせて「ひまわり号」が走りました。ひまわり号列車を走らせてから11回目で初めてバスの旅となりました。秋晴れの中、総勢約270名の参加者達が7台のバスに乗り込みました。信楽では30名のボランティアの皆さんがぜんざいや綿菓子のお店を出して迎えてくれました。また、奈良県連からは当日6名のボランティアで、前日から準備した300人分の豚汁を振る舞いました。広い公園の中、ステージではバンド演奏や和太鼓演奏なども披露され、お弁当を食べたり、絵付け体験をしたりと、それぞれ楽しい1日を過ごしました。



参加者の感想

◆◆ひまわり号タ刊やアンケートより◆◆

◆ おみやげを買ったよ。ドラエモンがいたよ。豚汁おいしかったよ。

(上之園よしみちゃん、森ちはるちゃん)

◆ 自然が一杯のところまで交流したいと思って参加しました。

(北田正さん・坂利木材工業)

◆ 参加前からドキドキしていました。今日はたぬきを買いに来ました。バスガイドさん最高。

(福本隆行さん・奈良教育大4回生)

◆ 毎年参加しています。みんなと集まって交流できるので楽しみ。気持ちよい自然の中で楽しんで来ました。

(西川さんご家族)

◆ 昨日から準備して300人分の豚汁を作りました。今日も朝の6時ぐらいに起きて、9時から準備。にんじん、大根、ごぼう、里芋、豚肉と栄養たっぷりです。これからもならコープをよろしくね。

◆ 絵付けはむずかしい。去年も参加しましたが、今年はバスでゆったり見晴らしが良かった。(お父さん) 魚の絵がかわいい大介君は「まわりの海を塗るのが大変！」と言っていました。

(西野さんご家族)

◆ その他アンケートでは、バス旅行も楽しかった/座りっぱなしで少し退屈だった/コンサートや地域の人達との交流が楽しかった/広い公園でのんびりできた/ボランティアや実行委員の皆様ありがとうございます。など、たくさんのアンケートが帰って来ました。

環境

ならコープでは今年度、中央環境マネジメント委員会を設置し、積極的に環境活動をすすめています。その中から上半期（4月～9月）の組合員の活動をまとめました。【99年度上半期環境事業報告案：中央環境マネジメント委員会事務局 組合員活動室発行より抜粋】

（1）環境月間（6月）を中心に組合員のリサイクル参加の拡大やくらしの見直し活動など、1万人規模のグリーンコンシューマー運動をすすめました

- ①マイバッグキャンペーンは、新たに「レンタル袋」の全店運用をはじめ、独自チラシなどで組合員に呼びかけました。また、6店舗で環境サークルや店舗委員による自主的な点検活動が行われました。
- ②環境商品普及として、環境サークルと環境委員会が店頭キャンペーンを実施し、1700人に利用を呼びかけました。また、「グリーンコンシューマーラリー」には1890人が参加し、全員にサブバッグを提供しました。
- ③くらしの見直し活動には、エコファミリープログラム（166家族692人）や、8回目となる環境測定活動には279人が参加し、身近なところで実践が行われました。また、夏休み子ども探検隊、自由研究支援のためのこどもあすなら塾を開催しました。
- ④学習活動ではあすなら塾を2回開催し、分別収集の必要性や環境マネジメント活動への理解が進みました。さらに班長会では、1万人以上の組合員がごみの分別をテーマに学ぶことができました。

（2）行政や地域諸団体との協力・連携をすすめて環境を守る取り組みを行いました

- ①奈良市ごみ分別の細分化に伴い、緊急に奈良市在住理事と環境委員会によるチームを結成し、地域・店舗委員会、環

境サークルへの学習、店頭でのお知らせ、あをがきフォトニュースの発行など、分別成功に向けた活動を行いました。

- ②アースデーを、4/18 県第一浄化センター自由広場で開催。雨天のため縮小開催となり、当日参加は関係者など350人でトラック1台のごみを収集しました。
- ③行政フェアや環境県民フォーラムの活動にも積極的に出展参加をしました。下期も天理・桜井・奈良市での出展を準備しています。

（3）組織改革に伴い、環境委員会の設置と各ブロックに環境チームの発足をめざしました

- ①環境委員会は12名体制でスタートしました。新しい委員も多く、ならコープの環境活動の実態と考え方、環境情勢の学習などを中心にすすめてきました。
- ②ブロック環境チームは5ブロック（54人）で発足しました。
- ③組織変更や班長会など環境への関心の高まりで、ブロックや地域委員会、サークルなどでの学習会や見学会が大幅に増加しました。また、行政の環境フェア出展にも主体的に関われるようになってきており、学習を通じて着実に地域委員会へ広がっています。



平和

奈良県生協連合会では、「核兵器廃絶 2000 年キャンペーン、2000 人アピール」に賛同し、2000 人の 1 人として会長名で呼びかけています。

2000 人アピール

核兵器の廃絶へ — 日本の責任

20 世紀最後の年を迎えようとしています。

人類は、20 世紀が生み出した誰の目にも明らかな愚行を、このまま 21 世紀に引き継ごうとしているかに見えます。一瞬にして数十万人を焼き殺す核兵器が、未だに国際政治の最高の道具として使われています。地球上には 30000 発以上の核弾頭が存在し、少なからぬ数が一触即発の発射態勢のもとに置かれています。核保有国の市民を含め、圧倒的多数の市民が核兵器のない世界を望んでいるにもかかわらず、政治は遅々として動きません。

このことに日本の市民は特別の責任を負っていると、私達は感じます。脳裡に焼きついている地獄絵を語りながら、「二度と核兵器が使われてはならない」と訴える被爆者の声に、私たちはもっとも近くで接してきました。被爆の医学的、社会的な後遺症が世代を越えて存続する恐れに支配された社会に、私たちは半世紀をこえて暮してきました。この経験を、地球と人類の未来のために生かす責任が、日本の市民にはあるのではないのでしょうか。

希望がないわけではありません。1998 年 6 月、いくつかの中堅国家政府が果敢な行動に立ち上がりました。「新アジェンダ連合」と呼ばれるこれらの政府は、核兵器廃絶のために「すべての努力を惜しまない」と宣言しました。世界各国の NGO が、これらの政府を励まし、政府と NGO の連携した運動が強まろうとしています。また、NGO が起草した「モデル核兵器禁止条約」は、正式の国連文書となって各国に配布されました。

残念ながら日本政府は、誘われたにもかかわらず、「新アジェンダ連合」に加わることを拒否しました。日本政府は核抑止論を肯定し、核兵器によって日本を守る考えにとらわれています。

世界のどの国よりも強い日本市民の反核感情は無力的なのでしょうか。日本の民主主義は機能しないのでしょうか。50 年を超える時間の流れのなかで、日本の反核運動がそれ自身のなかに、さまざまな壁を作り出したとの指摘もあります。日本の多くの市民が、もう一度一人の人間として、それぞれの言葉で語る気運と機会を作り出すときではないのでしょうか。

新しい世紀と新しい千年期の夜明けに、私たちは日本の市民が、思想・信条の違いを越えて、新しい気持ちで核兵器廃絶のための大きな声をあげることを呼びかけます。まずなすべきことは、私たち自身の政府の核兵器政策を変えさせることです。そのために、次のような課題があります。

一、日本に非核法を！

非核三原則を法制化するとともに、核の傘から離脱し、核兵器に依存しない安全保障政策を唱う必要があります。核兵器拡散の懸念を広げるプルトニウム政策の再検討が問われます。

二、東北アジアに非核地帯を！

東北アジアに非核地帯を作ることが、この地域の緊張緩和と信頼醸成の大きな一歩となります。

三、非核自治体を行動する自治体に！

今こそ、2300 を越える日本の非核宣言自治体の出番です。市民の手による、その活性化が必要です。

四、核軍縮へ国際的なリーダーシップを！

日本政府が「新アジェンダ連合」など同志国家と連帯して、国際政治の場で核廃絶のために積極的に行動するよう、市民の働きかけが必要です。

私たちは、市民の皆さんに訴えます。2000 年に核兵器廃絶運動の大きなうねりを作りましょう。そして、その動きを世界に発信しましょう。さまざまな場で、一人ひとりが、小さくても行動を始めることが変化を作ります。私たちも、その一人として「2000 人アピール」に名を連ねます。

2000 年 1 月 1 日

奈良県生活協同組合連合会 繁田實造

広がる協同・くらしの輪

アースデイ 2000 キャンペーン会議

10月9日京都せいきょう会館において、アースデイ 2000 関西相談会が開催されました。近畿2府4県およびかけ団体が参加し、情報発信のためのホームページを開設すること、集中キャンペーンを4月15日～29日（4月～6月を期間）とし、名称を「アースデイ 2000 関西ネットワーク」とすることが確認されました。

近畿農政局との懇談

10月13日、近畿農政局において近畿府県生協連と近畿農政局との懇談会を行ないました。近畿農政局から、近畿の食生活の在り方検討会、消費者・食品産業関連施策、環境保全型農業推進関連施策、WTO次期交渉に向けての日本の提案について、生協からは生協産直がめざすもの「1999年農産産直のガイドライン」についての説明と、各府県連から事前に申し入れた要望事項について発言し、意見交換を行ないました。



宮本局長のあいさつ

うまさ発掘ごっつお展

10月17日、奈良市生涯学習センターにおいて第3回うまさ発掘ごっつお展（奈良の食文化研究会主催）が開催されました。今回は「大和肉鳥」をテーマに開催し、大和肉鳥を使った料理の応募作品の中からごっつお大賞に平野節子さんの「鶏肉のリンゴ焼き」が選ばれました。



南代表のあいさつ

近畿府県合同防災訓練

11月11日、新日鉄堺製鉄所周辺において近畿府県合同防災訓練が行われました。この訓練は大阪府の要請に基づき、災害時の物資供給に関する協定により大阪府生協連が府下生協へ協力要請し、また、近畿2府4県の生協連との支援協定に基づき各生協連より支援を行ないました。当日市民も含め1万3千人の参加がありました。



京滋・奈良地域センター創立総会

10月23日、龍谷大学において京滋・奈良地域センター創立総会が開催されました。「大学の活気、学生の元気を増やし、生協も元気にしていこう！」をスローガンに、こうりたい生協をめざして、京滋・奈良地域の大学生協間で学び合い、励まし合える地域センターづくりがスタートしました。



99年度第2回生協・行政協議会

11月12日、共済会館やまどにおいて2000年予算編成、行政施策に向けての要望書に基づき生協・行政協議会を開催しました。食の安全に関わる施策の充実、福祉活動への援助、環境対策の強化、女性の立場での消費者行政・福祉行政への意見の反映、生協への助成等の要望を行いました。



北川次長のあいさつ

大学学園祭

11月12日～14日、奈良教育大学において、11月13日～14日、奈良高専・樟蔭女子短期大学において大学祭が開催されました。各生協で模擬店のほか、牛乳パックを原料にした紙すき（教育大生協）、アルコールバッチテスト（高専生協）が行われました。



全労済地域・文化イベント

11月20日春日野荘において、全労済地域文化イベントが開催されました。「生活習慣病とその予防」をテーマに榎野医院榎野久春院長の講演が行われました。



ノーモア・ウォーのつどい

12月4日～5日コブみみなしにおいて「親子で考えよう平和の大切さ」をテーマにノーモア・ウォーのつどいが開催されました。戦争中のくらしの様子や遺品、原爆パネル等の展示、吉川好胤氏の講演とアニメの上映等、子供から高齢者まで274名の参加がありました。



戦時食すいとんを食べる子供

つながる連帯・友好の輪

樟蔭女子短期大学生協

始めまして、昨年の9月より樟蔭女子短期大学生協に赴任した羽賀省二と申します。まだまだ未熟者ですが今後とも宜しくお願いします。

去る11月13・14日に学園祭（若樟祭）が行われました。学生委員も模擬店で「オムライス」を販売して当初予想していた数量を1日目のお昼には完売！すぐに買い出しに出て対応したほどの大盛況（約400食）でした。1・2回生とも元気で毎日押され気味に仕事をしています。今後は新生を迎えるにあたって、「入学前に何か生協からしてあげよう」「2回生は早くも卒業」ということで、引き継ぎも兼ねて合宿を計画しています。短い学生生活の中で彼女達なりに頑張っていて、楽しく活動しています。

（羽賀店長）



奈良高等専門学校生協

こんにちは、奈良高専生協です。最近の学生委員の活動としては、今は落ち着いているのですが、ひとつだけ現在進行中なのがあります。

それは、昨年から計画しておりましたペットボトル回収ボックスの開発&制作の見通しがもうすぐ立ちます。これから事業連合や他の大学生協とも連携してやっていきたいと考えています。みなさんのご支援、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

また、これに関連した企画がドンドコ出てくると思います。その都度皆様にお知らせしていきたいと思っておりますのでどうぞよろしく。

（学生委員長・弦川）

奈良労済生協

ー 共済掛金控除制度の廃止・縮減に
反対する署名活動を行いましたー

1. 実施の背景について

所得税や住民税における保険料（共済掛金）控除制度は、死亡・病気や災害・事故などの万一のリスクや安定した老後への備えに対する国民の自助努力を税制面から支援する重要な制度です。

私たちを取り巻く環境を見ますと、医療保険制度や年金制度などの公的社会保障制度の改定が進められており、また、少子・高齢化もすすんでいるため、自助努力の重要性がますます高まってきております。

全労済は、国民の生活の安定を図り、豊かで活力ある地域社会を築くためにも、政府による国民に対する自助努力の支援が必要であると考えます。

そこで、全労済としては、国民の自助努力を税制面で支援しているこの制度の拡充を、全労済の組合員による国民的な署名活動を通じて、政府に要請していくこととしました。

2. 署名結果について

10月8日から22日まで、全国的な署名活動を展開し、全国の組合員をはじめ多くの方のご理解・ご協力のもとに、多数の署名を集めることができました。

11月19日の時点で全国約229万名の署名が集まっています。（目標人数：135万人）

奈良県では、11,499名の署名が集まっています。（目標人数：6,000人 達成率：191.7%）

ご協力ありがとうございました。

（事業推進部推進二課・上田）

学

奈良女子大生協

—花小町3人トリオ(早苗・アッコ先輩・真帆)が元気にお店を大改造—

本の仕入れを取引先に行き、自分が読みたい本、皆に見て欲しい本を700冊ぐらい、2回に渡って抜き取りに行ってくれました。思わず読みたくなるようなお勧めPOPも自分達で書き、本の帯につけます。新潮文庫2冊以上で15% offセール。

お菓子・パン・ジュースの棚のお勧め一言アドバイスがいっぱい。商品も価格別に10円から30円の棚、95円均一の棚と金額で分け、8個入り280円と高く買えない商品を一個ずつバラシテ並べるとか、自分達が利用しやすいようにどんどん並び替えて、楽しく利用しやすいお店になっています。毎日楽しく、お店が生き生きしています。一度見に来てください。

ウインディーも、一回生が企画したホワイトイブニングも100人近くの参加者があり(12月3日)、今は新学期パンフレットの情報集めに頑張っています。

12月14日(火)・・・奈良女2000年新歓会議

12月16日(木)・・・奈良女生協理事会

忘年会

(竹内専務理事)

学

奈良県立商科大生協

11月半ばから、食堂ホール全面禁煙になり環境がよくなって、女子学生もゆっくりとくつろいでいます。

菓子パンの販売も順調に、1日10個から15個売れています。冬メニューも少しずつ変えています。土曜日の利用は5千円から7千円で非常に悪いです。

商大で働いている学生さんとお話をしまし

ならコープ

2000年春の班長会、店舗グループ利用者懇談会を2000年2月7日(月)～3月18日(土)の期間に開催します。

今回は、「食生活の見直し・改善」をテーマとしておすすめします。

以下の2つを主な目的にして取り組みます。

- 1) 「食生活の見直し・改善」を学習する中で、現在の食生活の問題点について話し合い組合員どうしの工夫の交流をすすめます
- 2) 商品学習と教え合いを通じて、生協商品の理解と組合員の声が反映された商品の普及をすすめます

主な内容は

1. 個食化(孤食)や家族での食事の崩壊等、食生活の乱れについて多くの指摘と警鐘がなされています。今回、こうした現状に着目し食生活の意味をもう一度見直し、食生活の改善や工夫をくらしの中で活かす機会にします。話し合いの中でバランスのよい食生活を次世代に残していくこと、お米や日本型食生活や旬の味を再度見直すことなどを教え合い学び合います。
2. 商品活動では、ブロック商品チームや地域委員会モニターで取り組んだ開発・改善商品の紹介
 - ・学習をすすめ、店舗でのおすすめも含め利用に繋がる取り組みをすすめます。

(組合員活動室・中野)

た。評価の不満や不信感を持っているようです。もっと商大の組合員が来たくような、温かい楽しいお店作りのために、これからも工夫が出来たらと考えています。

それから商大の学生理事・毛利誠君が、京滋奈良地域センターの理事になりました。皆さん応援してください。

(竹内理事)

テーマーク「2000年に生きる」

(順不同・敬称・役職名省略)

□ 昭和45年大阪で開催された万博で見た東山魁夷の唐招提寺のふすま絵が、今でも目に焼き付いています。それ以来、奈良・京都の美術館をめぐり、最近では東京上野の森にある東京国立博物館、国立西洋美術館での西洋美術、また東京芸大美術館の横山大観、杉山寧、加山又造等の卒業記念作品のすばらしさに感銘をうけています。古今東西を問わず、すばらしい作品というものは心をすがすがしくしてくれるものです。この気持ちを持って、2000年という節目の年がこれらの絵に負けないすばらしい年であることを望んでやみません。しかし、ふと我々をめぐる情勢の一面に目を向けると、原油の値上がりからくる物価高がさらに不況を引き延ばし、企業のリストラが加速する可能性があるなどおちおち美術鑑賞にひたっていられないかもしれません。しかし、そういうときこそ船井総研の社長である船井幸雄氏の言葉にある「仕事好き、勉強好き、プラス発想、素直」を十分かみしめて、これからの時代を後世に語り継がれるすばらしい時代にしていきたいと思います。

奈良県農業協同組合中央会 中村 正之

□ 西暦2000年。20世紀を締めくくる最後の年ではありますが、この区切りのいい数には、同時に何か始まりも感じさせるワクワクするものがあります。20世紀の社会や科学技術の発達のもとに出てきた矛盾や行き詰まりの中から、どんな未来を選ぶ事になるのか、特別な一部の人達だけの責任ではなく、私達一人一人の選択の結果が総意となって、未来を決定して行くでしょう。私自身は、大切なものは何かを見きわめて、心は豊かに暮らして、体はスリムに21世紀への助走をはじめたいと思います。

ならコープ 環境サークル 浦澤 和子

□ 私はこれまで“社会福祉は権利である”と学んできました。福祉は決して“お世話になる”ものではなく、人として豊かに生きて行くための当然の権利

しかし、今回の介護保険や社会福祉基礎構造改革の動きは、その考えを根本から変えていくものです。社会福祉や社会保険という言葉さえ、福祉サービスや福祉契約といったものにかかわっていくような気がします。大切なものが崩れていく…。そんな不安を感じずにはいられません。2000年の開所をめざし、現在私達は障害をもつ人達のための施設建設づくりに取り組んでいます。弱い立場にある人達が大切にされている、そんな社会の実現に向かって、微力ながら進んで行きたいと思います。

かすが共同作業所 古木 一夫

□ 1999年と2000年。数字でいえば1増えただけなのに、それを取り巻く動きはあまりにも大きくこの1年—1999年は「1」という数字が加わることの重さを公私共に実感した1年でした。学生委員となり、生協理事となり、商科大学のバイト職員になって3年目を迎えましたが、去年と比較しても、名実ともに生協に関わった1年だったと思います。参加する立場から、統率しまとめる立場への転換は、戸惑うこともあり苦しくもありました。しかし、それ以上に「どうにかしたい、何かしたいと思うだけではだめなのであり、自ら動くことで事態はいくらでも変えられること」を学ぶことができました。2000年は私にとって「勝負」の年です。新歓、学委の存続、教採と負けられません。4回生として、学生委員として、悔いの残らない1年を過ごしたいと思います。

奈良教育大学学生 高山 真理子

□ いよいよ2000年の幕開けの時がやって来ました。自称“ボランティアおばさん”の私にとっては人生の後半戦を過ごす事になります。自分の進むべき道は？と問いかけながら、時には走り時には立ち止まりつつ色々な贅肉を落として、「持ちつ持たれつ」夫と、仲間と、そしてあすなら苑の皆様方と楽しい時間を過ごせたらと願います。特に、あすなら苑での月2回のあの輝くようなお顔に接するすばらしい時を大切に、感動を忘れずに生きたいものです。

ならコープ 福祉サークル 北原 美津子

□ 2000年を迎えて雑感・・・今年が西暦2000年という事であるが、これに対し、すでに虚構の歴史として否定され今は死語となった皇国史観に基づく紀元である皇紀を仮に対応させれば、何と2660年という事になる。（この660年の差と、万世一系の皇統を、日本が諸外国に優れた国として教えた）キリスト生誕4年後を元年とする西暦に対し、皇紀は神武天皇が大和橿原で皇位に就いたという日（2月11日）を、日本の紀元とするもので、全く史実の裏付けを欠く事は疑問の余地の無いところであるが、50数年前までは史実として宣伝され、1940年（昭和15年）には皇紀2600年として政府（軍部）の主導で、全国津々浦々で慶祝のイベントが展開された事は、私共の記憶に新しく、苦い思い出である。
奈良県原爆被害者の会（わかくさの会） 市原 大資

□ 人生80年!!価値ある人生の道標!!ある講演の中で、60才定年、80才まで生きるとして一番大きく得るもの、それは10万時間という膨大な自由時間だそうです。この与えられる10万時間の使い道を、数ヶ月後に迫ってくる定年を前に、大いに慌てている私です。定年後得るものに対し失うものも大きくて、再就職しない人の場合、朝起きても行く職場がない!!これが老いの始まりの一つとか言われます。美しく老いる為に、一人で生きて行くには何が出来るか、自分の歩む道はどれかを探すのに日夜頭を痛めています。いつも言われていました「下手な考え休むに似たり」と夫の声が聞こえて来るようです。人生なるようにしかならないのが普通なんだと思えば気が楽ですが・・・。定年後は社会へ還元出来る事にも10万時間の一部を当てたいと思います。

ならコープ職員 栗原 富厚

□ 2000年を迎える節目の今、私達はどう生きていこうとするのか、又何を求めて生きて行くのかを、絶えず問い続ける必要があります。それは、一人ひとりの生命を尊重し、他者と自然と共に生きることではことではないでしょうか。そのことにより、私達は生きる意味を見出し、全ての人々が人間らしく生きる社会・世界を創造できるのだと思います。その為には、一人ひとりの人間を大切にできる人を育てること、ボランティア活動を推進することが重要だと考えます。

奈良YMCA 藤井 辰男

□ この事務所に入社して20数年が経過したが、ふり返って見ると、ただがむしゃらに仕事をこなしてきただけの気がする。後になって自分の足跡を残す仕事ができたらと、近頃考える様になった。同時に定年後の自分を想像してみる。今日から仕事以外のことで何をして暮そうか？その時になって考えるのではなく生きる力になるものを今のうちにたくさん見つけておきたい。常に好奇心のアンテナをはりめぐらせて……。

奈良県森林組合連合会 中澤 義次

□ 時代の流れなのだろう。誰かに何かをしてもらうのではなく、自分でできることを何でもいい、することが求められていると思う。とは言え、行動を起こすには大きなエネルギーがいる。その力をくれるのは友達である。人との出会いを大事に、小さな事でもいい、私に出来ること、私の心が動くことを実行に移していきたい。

ならコープ平和の会 上田 和代

□ コンピューターの世界で1999年は『一年一昔』と言われたが、2000年は『三ヶ月一昔』と呼ばれるようになるんじゃないかな。

76年から今日までコンピューターをとりまく産業とそこから生まれる新しい表現の変化はどのジャンルよりも数倍速くて、たぶん人類史上もっとも速い劇的な変化をしている。そんな3ヶ月単位の時代でも常に自己の方針である『ラブ&サービス』、斬新な手法とより可能性があるメディア、最新の技術を追い続ける生き方をしたいと思っている。

県立商科大学学生 緑川 天

テーマーク「2000年に生きる」

大和しとし

- ・ 紫木蓮の花芽ふくらみ陽はぬくし人のこころも和ぎてあるべし
- ・ 梨の花白くかすみて昼深し天来の声やさしくとどけ
- ・ 月迎ふ休石田の草のびゆきて緑波うつこの夕まぐれ
- ・ 芽ぶきたる木々のみどりの目にしみる山脈見れば大和しとし



種々の思いを秘めて世紀末を迎えようとしています。「ケジメだけはつけておきたい。」こんな闘志を炎やしています。21世紀には人権文化の創造にむかって、ひたすら歩き続けたいと、念じています。 美しい大和に、かおり高い心の花を咲かせたいと……。

奈良県地域婦人団体連絡協議会 安田 栄子

県連日誌

- 10/14 第2回理事会
- 30 第10回生協大会
- 11/3 ひまわり号列車
- 11 第3回理事会
生協・行政協議会
- 4・5 府県連協議会
- 22 全労済地域・文化イベント
- 12/5 ノーモア・ウォーのつどい
- 1・2 労済生協県指導検査
- 6・7 高専生協県指導検査
- 10 全国県連責任者会議

お知らせ

◆ ミレニアム・コンサート

—元氣かい神戸・忘れない震災—

と き 1月23日(日)

10:30～と14:00～

ところ あすなら苑ホール(3階)

出演 神谷徹氏(リコーダー・ストロ奏者)

参加費 1人1000円(4歳以上)

収益金全額復興のため寄付します

お問い合わせ先 ならコープ組合員活動室

Tel 0742-34-8735

編集後記

▽2000年!

二十世紀をおおよそ総括できる時点にいる私達は幸運!2000年は「動」の年で!その中で落ちついて自分のゆとりの時間を育てる。広大、悠久の中で新しい感動が見つければいいなあ…の、2000年!そして、おこがましくも3000年に想いを馳せてみる。(恭)

▽高校受験に向けて新年も何もないなんて最悪!我が娘のぼやき。何のこれしき、人生の中の数ヶ月のこと。過ぎてみたらアー2000年の幕開けは受験だったな。なんていい思い出になると言う私。二十一世紀を生きている子供達にとってこの先はどうなるのか?明るい未来を担っていかれる大人に育って欲しい。(鈴)

▽2000年に生きるテーマークで日頃お世話になつていらっしゃる方に語っていただいた。私にとつてすてきな出逢いの人達

「出逢い、そして感動、人間を動かかし人間を変えてゆくものはむずかしい理論や理屈じゃないんだなあ、感動が人間を動かかし出逢いが人間を変えてゆくんだなあ」

(相田みつを)

2000年すてきな出逢いを求めて

(俊)

奈良県生活協同組合連合会

〒630-8136 奈良市恋の窪 1-2-2 ならコープ気付

TEL 0742-34-3535 FAX 0742-34-0043